

近畿学校保健学会通信

No. 22

昭和47年6月25日

第19回近畿学校保健学会事務局

(〒543) 大阪市天王寺区南河堀町 43

大阪教育大学教育学部保健学教室

TEL 大阪(06) 771-8131

内線 239, 242, 379

振替口座番号 大阪 26657

「学校保健」に期待して

天理大学 橋 重 美

都市で、海洋で此の頃では我々を取りまく環境が至るところで破壊され汚染されることが多くなってきている。

このままでゆけば人間未来は大きな危機に逢着することになりかねない。これらのことが、連日のように報ぜられても、一般には健康安全については特に無関心の人が多い。それは自分にとって別の世界のできごとのように受けとっている。

未来の人間の幸と健康のために教育が今こそもっとこの問題に真剣にならなければならない。然し逆に学校教育花ざかりが叫ばれる現在、現場では健康の問題は、なにかと喧伝されるわりには、片すみに置きざりにされ勝ちの傾向である。教育が充実されればされる程、知的なものが大きくその輪を拡げて、健康は色あせたものとなってしまっている。

学校保健に関してでは教育の世界で、「充分のなかの不充分」となっていることを強く感ずる。学向研究が盛になり、細分化の現在、学校ではこの意識が一層強くなり、健康のことは、保健の先生だけの仕事と考えられ勝ちである。健康はどの教科の先生も認識と理解を持ち指導にあたらなければならないことが忘れられている。学校保健こそ現場のなかで「充分のなかの充分」でなければならない。

学校保健を充実させるために、学校は勿論家庭、地域社会への浸透をはかることに努める必要がある。

第19回近畿学校保健学会の開催のため、上林会長を中心として大阪教育大学の諸先生で大変御苦勞を頂いていることに心から感謝しています。この大会を通じて学校保健その本値を一層鮮明にして大きく飛躍するためにも、できるだけ多くの現場の先生や地域の人々が参加されることを心から期待する。

第19回近畿学校保健学会開催要項

1. 会 長 上林久雄(大阪教育大学教授)
2. 事務局 大阪教育大学保健学教室(事務局長 詫間晋平)
大阪市天王寺区南河堀町43 TEL 06-771-8131
内線239,242,379
3. 開催期日 昭和47年8月9日(水)
4. 会 場 朝日生命ホール(8F)
大阪市東区高麗橋筋5-50
(地下鉄・京阪の淀屋橋下車、徒歩約2分)
5. 日 程 受 付 9:15~9:45(AM)
一般口演 9:45(AM)~0:30(PM)
シンポジウム 1:30~4:30(PM)
(昼食時に評議員会を開催の予定)
6. その他 ・一般口演は、演題申込要項により申込んでいただきます。
・シンポジウムは、「肥満児、瘦児の問題」について行なう予定です。

3ページのつづき

14. ストレス要因の条件とその適応に関する研究(第3報)
—寒冷等をストレッサーとして—
○三宅義信(京女大)、川畑愛義(京府衛生)
木村静雄(立命大)、瀬戸 進(大谷大)
奈倉道隆(京大医)、大山良徳(京大)
日比野朔郎(京府大)、小西博喜(京産大)
15. ストレス要因の適応に関する研究(第4報)
—鍛錬効果について—
○瀬戸 進(大谷大)、川畑愛義(京府衛生)
木村静雄(立命大)、三宅義信(京女大)
大山良徳(京大)、小西博喜(京産大)
奈倉道隆(京大医)、日比野朔郎(京府大)

研究発表プログラム

○ 印発表者

1. 騒音公害の人間形成に及ぼす影響についての
一調査研究
一航空機騒音の場合一
○ 武田真太郎・服部陽子・坂西美津子
(神戸大・教育)
塚本利之(神戸大・医)
2. 学童対象の大気汚染アンケート
一BMRC様式による和歌山県下の調査一
○ 中元藤茂(和歌山大・教育)
吉田泰子(同・医務室)
3. 公害に関する西淀川区内幼稚園の現状
○ 芳山照子(大阪市立姫島幼稚園)
杉本佳子(大阪市立野里幼稚園)
中峯すみ(大阪市立大和田幼稚園)
4. 市内某2幼稚園視力・斜視集団検診成績
○ 湖崎 克(大阪市立小児保健センター眼科)
嶋田ゆり子(精華幼稚園養護教諭)
樋口清子(日本橋幼稚園養護教諭)
斉藤理恵(大阪市立小児保健センター眼科)
5. 過密地区学童に対する集団望遠訓練の試み
○ 岩崎和圭子(精華小眼科校医)
湖崎 克(大阪市立小児保健センター眼科)
大川内ふみ(精華小学校養護教諭)
6. 和歌山大学附属中学校における近視発生率の
9年間の追跡調査
中元藤茂(和歌山大・教育)
○ 小磯日出子(同・附属中学校)
7. 学童における起立性調節障害(OD)と前庭
機能について
円山一郎 仲井正名 ○山本紀子
木曾真佐子 酒井克子 林セツ子
橋本博美 山田ひろ子 真鍋陽子
森田純子(大教大養教養成所)
楠本正輝 橋本滋子(大教大平野附小)
向谷嗟起子(本田小)
8. 小中学生の血圧値の分布と体位との関連性
○ 中元藤茂(和歌山大学教育学部)
吉田泰子(同学部医務室)
向山桂子(同学部附属小学校)
9. 学習困難児についての一考察
○ 山本勝朗(大阪市立大学児童保健研究室)
神 高雄(堺市立教育研究所)
林 陸雄(同上)
10. 学制発布以来の教員養成機関での教育課程に
おける学校保健
○ 横尾能範 佐守信男(神戸大学教育学部
教育衛生学教室)
11. 健康観に関する史的考察
○ 川畑愛義(京都府立衛生研究所)
12. 学校給食の巡回指導について
藤原為一 細部新一郎(大阪市学校薬剤師会)
13. 中学校の保健体育指導における環境衛生について
細部新一郎(同上)

2ページへつづく

名誉会員玉置弁先生の御長逝を悼む

大阪教育大学名誉教授 伊 東 祐 一

去る4月13日、湯の峯温泉あづまや旅館(玉置先生奥様の経営)一室で、中食を済して一服しているところへ、けたまわしい電話のベルの音、受話器をとったところ、それは玉置先生の訃を知らせるものであった。

折柄、来湯中であった先生の御長男の令夫人、支配人と同道、車を田辺八曜荘に走らせた。この道は幾度か先生と往来した道である。八曜荘に着いた時は、次兄英夫氏(玉置病院長)のみで、奥様はこの朝、先生の御気分がよかったので、お参りに出かけられた留守中のことであったという。

先と死の間、先生の温容は眠る如くという言葉通り今にも眼をさまし、にこやかに語りかけられるように思われました。湯の峯への途中田辺にお見舞に立寄った節、お目にかゝると興奮されるとのことで御遠慮申し上げたため、一年前に病床にお尋ねしたのが最後となってしまった。

学校医の方々の中には、学校保健に多大の熱意を持っておられる方は少ないが、先生のように己を捨てて公につくすという精神に徹した方は稀である。地域社会の児童・生徒の健康状態は勿論、それは教師・父兄との連繋がなければならぬという観点から、学校保健のみならず、社会教育の場における保健教育にも意を注がれていた。

私は学校保健ばかりでなく、先生が和歌山県温泉審議会委員をされていた関係上、温泉関係においても御交誼をいたゞいていたので、先生の御長逝は心淋しいといった程度のもではなく、憂愁の感、切なるものがある。先生の生前の性行を知るものとして、必らずや先生は羽化登仙されたことと信じてやまない。(47年6月1日記)